

2015 年度前期 授業評価アンケート結果に対するコメント

—全学共通教育—

共通教育研究センター長 相澤 正彦

全学共通教育科目の前期開講科目のうち、アンケート対象科目は 86 科目であり、このうち 5 科目をのぞく 81 科目についてアンケートが実施されました。(実施率 94.2%)。内訳は実施必須科目 55 科目中、実施された科目は 55 科目すべて(100%)、任意科目 31 科目中、実施されたのは 26 科目(83.9%)でした。協力を頂いた学部生のみなさんは延べ 2,551 名にわたりました。この場を借りて御礼申し上げます。またアンケートの実施に対し、貴重な授業時間を割いてご協力頂いた先生方にも深く感謝いたします。

ここでは全学共通教育科目のうち、国際センター、キャリアセンター所管の科目以外の集計結果のコメントを行います。すでに周知のように個別科目の集計結果は Campus Square から自由に閲覧することが可能です。おおいに利用していただきたいと思います。さて、授業の満足度を示す「総合評価」の平均は、5 段階評価で 4.49 であり、大学全体 4.30 よりも高く、4 学部と比較してもトップの水準にあるといえましょう。各項目別にみると、「教員は発言・議論等の授業参加を促した」の 3.87 と「予習または復習をよくした」の 3.05 以外はすべて 4.0 以上の高い評価を得ています。

個別項目と「総合評価」との相関でみると、例年、相関係数がトップの位置にある「この分野の関心と学力が得られた」は 0.57 と数値は変わらず高いものでしたが、本年度も「教員は発言・議論等授業参加を積極的に促した」が 0.58 と上回りました。これは昨年と同じ傾向にありますが、この二つの数値を見ると、アクティブラーニングの促進が連年、浸透してきており、その効果が現れてきていることを如実に感じ取ることが出来ます。またこのことは「授業への教員の熱意を感じた」が 0.64 と全体のトップであったことと同調するものと思われ、教員みなさんの不断のご努力によるものと、重ねて謝意を表する次第です。これにくらべ前記、学部生の予習、復習度 3.05 と例年と同じく低いことが懸念されます。これは学部も含めた全体的な傾向であり、学生側の奮起も期待したいところです。

スポーツ・ウェルネス科目は「総合評価」が 4.81 と連年と同じく高く、実技、講義科目とも 1 項目を除きすべて 4.50 を上まわりました。学生におけるスポーツおよびウェルネス関係の関心の高まりと教員みなさんの熱意がうかがわれます。

全学共通教育科目は、教養科目、外国語科目、スポーツ・ウェルネス科目、IT 科目、WRD 科目、データサイエンス科目という構成からなり、基本的な学問体系を学べるよう、また今日的な諸問題に取り組むことができる教養や知力、スキルを習得できるよう、多岐にわたる科目が配されています。このアンケートを通じ、今後も質の高い授業を学生のみなさんに提供していこうと考えています。